

(3) その他子育て支援施設

ア 施設概要

子どもの成長に伴う様々な悩みや問題に対する相談や子育てに関する学習の場の提供など、子育てに関する総合的な事業を行う場として「子育て支援総合センター」を設置しています。

施設No.	施設名称	所在地	地区	所管課
子1	子育て支援総合センター	柳町二丁目1番39号	湯沢	子ども未来課

イ 現状と課題

施設No.	施設名称	建築年	法定耐用年数	経過年数	延床面積(m ²)	運営形態	職員数	支出(千円)	収入(千円)	利用人数
子1	子育て支援総合センター	S62	47	32	—	直営管理	正2, 再1, 非3	28, 919	10, 394	8, 300

子1 子育て支援総合センター

昭和62年に民間企業が新耐震基準で建設（鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積563.28m²。建築から32年経過）した建物の一部（427.75m²）を、平成27年から市が無償で借り受けて開設しています。

開館日・開館時間は、年末年始と日曜日・祝日を除く毎日、8時30分から17時15分、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は28,919千円で、運営費補助等として10,394千円の収入があります。

施設は、つどいの広場（育児ルーム）、和室等で構成し、子育て相談やすすく歯科相談、絵本の読み聞かせや育児サークル支援など親子活動と子育てに関する学習の場を提供しているほか、ファミリーサポートセンター事業での子どもの預かり場所として使用されており、年間約8,300人が利用しています。

ウ 今後の方針とスケジュール

公共施設等総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。（分析・評価結果は資料編を参照）。

【基本的な考え方】

- 子育て支援機能について、子育て支援に関する各機関の役割を整理し、今後のあり方を検討します。
- 民間施設を借り受けて開設していることから、機能の移転・複合化するとともに、管理運営手法についても検討します。

【個別施設ごとの対応方針】

子1 子育て支援総合センター

- 子育て支援機能について、子育て支援に関する各機関の役割を整理し、今後のあり方を検討します。
- 民間企業が所有している建物の一部を無償で借り受けて開設していることから、子育て支援機能の今後のあり方、管理運営のあり方を検討したうえで、必要な機能について、湯沢生涯学習センター等の移転先へ複合化します。

【年度別スケジュール】

項目	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度～2030年度 (R7)～(R12)
子育て支援総合センター	センター機能、施設のあり方検討		新施設での事業運営計画の作成			● 移転・複合化

エ 概算事業費と効果額

単位：千円

施設 No.	施設名称	今後の 方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）						維持管理費	
				現状維持した場合			本計画を実施した場合			単年度の比較	
		建物	長寿 命化	大規模改修	建替	合計	長寿命化等 大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
子1	子育て支援総合センター	(複合化)		0	0	0	0	0	0	28,919	28,919
概算事業費（合計）				0	0	① 0	0	0	② 0	③ 28,919	④ 28,919

更新費用の試算比較 ②－①	単年度の維持管理費の比較 ④－③
0 千円	0 千円

※ 更新費用は、本計画策定年度の令和2年度から起算して40年間に必要となる大規模改修費用及び建替費用の試算額です。

大規模改修費用：17万円/m²、更新（建替）費用：33万円/m²（総務省が提供する単価）

※ 維持管理費は、直近（平成30年度）の施設維持管理に係る年間の支出額です。

※ 端数処理の関係上、合計と一致しない場合があります。

※ 民間施設を利用している場合は更新費用の比較は行わず、維持管理費のみとします。